

2022

7.2(±) ~~8.6(±)~~ 9.3(±)

10.1(±) 11.5(±)

9:30~12:00 9:00~受付 9:30~閉館、移動



海からのメッセージ
「流れ着くものたち」

ビーチコーミング

「ビーチコーミング」って?

ビーチコーミングとはビーチ(海岸)をゴミ(くず)でとくように海岸の漂着物を拾い集めることです。海岸には様々な漂着物があつちます。漂着物の正体や、どこから来たかなどを考えます。

場 所 : 流氷科学センター → コルクホール → 流氷科学センター
移動して30分位歩きます。

対 象 : 小学生4年生~1歳(小学生は保護者同伴)
定 員 : 5名 (現地まで自動車で行ける場合、予約で追加可)
持 ち 帰 : 無料、手紙、ビニール袋、用具 など
参 加 料 : 保険料として 50円
そ の 他 : 厚紙として用でも郵送します。

漂着物を拾い正体や由来を考えるビーチコーミング。今年は7月~11月の各月1回、計5回実施しています。残りの開催日は10月1日(土)、11月5日(土)。電話予約が必要です。ご参加お待ちしております。

ゼロカーボンパネル展

10月1日(土)~15日(土)

北海道オホーツク振興局によるゼロカーボンに関するパネルを展示します。ゼロカーボンとは家庭や企業から排出される二酸化炭素(カーボン)などの温室効果ガスを、太陽光発電による電気などの再生可能エネルギー導入によって削減し、森林の吸収分により相殺して、排出量を実質的にゼロにすることです。パネル展示で学んで考えてみませんか。

第8回 11月5日(土)~11月27日(日) 木の香りこがし絵展

木片を焦がしながら描く、素朴で緻密なタッチが魅力の焼き絵作品約40点を展示紹介します。(会場: 多目的ホール) ※写真は昨年度の様子



6、7、8月の事業報告

令和4年度 企画展 世界鉱物年特別企画

開催中~9月30日(金)

アート&サイエンス地球からの贈り物~オホーツクの自然が育むその恵み~金石造形展



2022年は近代鉱物学、結晶学の父、ルネ・ジュスト・アユイの没後200年を記念してユネスコが定めた「世界鉱物年」になります。ただ今、アート&サイエンスをテーマにした企画展を開催しています。金石造形作家の今井裕之氏の作品と鉱物標本を展示しています。皆様のご来場お待ちしております。



全国流氷絵手紙交流展

全国流氷絵手紙交流展は、6/12~7/10まで開催されました。2年振りの開催となった今回、会場の多目的ホールには、約500点もの心温まる絵手紙がズラリと並び、お客様を楽しませる癒しの空間となりました。ご来場いただきありがとうございました。



夏の科学教室

夏の科学教室は南極との中継や工作教室を行いました。南極中継は他の科学館とも中継を結び貴重なお話を聞くことができました。工作教室も磁石工作やソーラーカー製作など行いました。ご参加頂いた皆様ありがとうございました。



行事予定

予定しているイベント・展示会は、新型コロナウイルス感染拡大防止を目的とした休館などにより、急遽中止や日程変更となる場合があります。

<9月>

■令和4年度企画展
世界鉱物年企画
アート&サイエンス
「地球からの贈りもの
～オホーツクの自然が育む
その恵み～金石造形展」
日程:8月6日～9月30日

■ビーチコーミング
日程:9月3日

■今月のプラネタリウム
日程:9月11日

<10月>

■ゼロカーボンパネル展
日程:10月1日～15日

■ビーチコーミング
日程:10月1日

■今月のプラネタリウム
日程:10月9日

■写真展「オホーツク物語 2022
～西紋写真部作品展～」
日程:10月10日～30日

<11月>

■第8回木の香り こがし絵展
日程:11月5日～27日

■ビーチコーミング
日程:11月5日

■今月のプラネタリウム
日程:11月13日

※その他最新情報・
詳細については
ホームページ・facebook
にて随時更新していきます。

夏のギザまつり



8月11日～14日に「夏のギザまつり」を開催しました。プランクトン観察コーナー、エコバッグづくり、エコドライブシミュレーターなど体験コーナーは多くの方の参加がありました。流水重さ当てクイズも多くの当日参加で盛り上がりました。

～流水の街から～

企画展「地球からの贈り物

～オホーツクの自然が育むその恵み～金石造形展」開催中

アート&サイエンスを展示した企画展が開催中です。金石造形作家の今井裕之氏の作品や鉱物標本全 116 点を展示しています。展示構成の前半は北海道オホーツク沿岸から採集された鉱物を展示、続いて紋別のオパール、鴻之舞金山周辺の鉱物、紋別の鉱物などを展示しています。また、国立科学博物館からお借りした全国の美しい貴重な鉱石も展示しており、大変見ごたえのある内容となっています。アートの展示は辰砂を紹介して日本画家である川嶋渉氏のオホーツクにちなんだ絵画を 1 点展示、最後は今井氏の金石造形作品を展示しています。紋別市にある流水科学センターでの展示と言うことでオホーツク海に生息する生きものやクリオネの作品もあります。また、今回のために新たに製作された 2017 年に新種として発表されたダルマハダカカメガイの作品もあり、クリオネ好きにはたまらない作品も展示しています。

アートと鉱物をテーマにした展示会もなかなかないかもしれませんが、オホーツク、紋別にスポットライトを当てた数多くの鉱物標本展示も珍しいと思います。地元の方もなかなか知らないとのこと好評を頂いています。

会期は 9 月 30 日(金)までとなっています。是非アート&サイエンスの世界をお楽しみください。(桑原)

「鉱物標本展示」



「金石造形作品展示」

GIZAだより Vol.136 発行:北海道立オホーツク流水科学センター

〒094-0023 北海道紋別市元紋別11 TEL (0158)23-5400 FAX (0158)23-9844

[ホームページ] <http://www.giza-ryuhyo.com> [メール] info@giza-ryuhyo.com <http://www.facebook.com/giza.ryuhyo/>

[開館時間] 9:00～17:00 [休館日] 9月5日、12日、20日、26日、10月3日、11日、17日、24日、31日、11月7日、14日、21日、28日